

第3回アドバイザーボード 議事概要

1 日 時 令和6年7月23日(火) 13:00~15:30

2 場 所 都市センターホテル スバル(東京都千代田区平河町2-4-1)

3 議 事

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 意見交換
- (4) 閉会

4 出席者

(1) アドバイザー

石村 和彦	産業技術総合研究所理事長
永田 恭介	筑波大学長
原山 優子	東北大学名誉教授
山名 元	原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長

(2) F-REI

山崎理事長、江村理事、木村理事、野口執行役、大和田執行役、森下監事、中西監事、野波分野長、佐々木分野長、荒尾副分野長、矢部分野長、秋田副分野長、錦谷副分野長、片岡分野長、山下副分野長、茅野副分野長、大原副分野長 ほか

5 議事要旨

- ・F-REI の取組等について、F-REI から説明を行った後、各アドバイザーとの意見交換を実施した。
- ・アドバイザーから研究開発ユニットの創成等に対して、意見を頂いた。
(アドバイザーの主な意見)
- 研究だけでは社会実装は困難であり、社会実装のための機能を持った組織が F-REI の中で必要である。
- ポスドクや研究員について、特に女性研究者をどのようにして集めていくのか、具体的な方策を検討すべき。
- ユニットリーダーや PI について、研究能力だけを求めるのか、教育的な能力も求めるのか、検討していく必要がある。
- 複数の技術職員が効率的に動ける仕組みが必要。技術職員の組織化を早く進めたほうが良い。

(以上)